賛助会員一覧 （順不同）

関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2	**村山 サンドラー 先生** TEL：03-3376-2244	**自由学園 中等科・高等科** 東京都東久留米市学園町1-8-15	**更科 幸一 先生** TEL：042-422-3111
東洋高等学校 東京都千代田区神田三崎町1-4-16	**石井 和彦 先生** TEL：03-3291-3824	**京華学園** 東京都文京区白山5-6-6	**今野 巌 先生** TEL：03-3941-6493
桜丘中学・高等学校 東京都北区滝野川1-51-12	**高橋 知仁 先生** TEL：03-3910-6161	**武蔵野大学千代田高等学院** 東京都千代田区四番町11	**岡田 孝子 先生** TEL：03-3263-6551
光英VERITAS中学高等学校 千葉県松戸市秋山600	**川並 芳純 先生** TEL：047-392-8111	**目黒日大中学高等学校** 東京都目黒区目黒1-6-15	**天野 正貴 先生** TEL：03-3492-3388
麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8	**田邊 隆 先生** TEL：03-3263-3011	**共栄学園中学高等学校** 東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	**越間 秀男 先生** TEL：03-3601-7136
春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213	**馬﨑 郁朗 先生** TEL：048-737-7611	**中村中学・高等学校** 東京都江東区清澄2-3-15	**富田 義道 先生** TEL：03-3642-8041
東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	**小泉 岳司 先生** TEL：03-3312-1111	**文教大学付属中学高等学校** 東京都品川区旗の台3-2-17	**神戸 航 先生** TEL：03-3783-5511
八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲2-14-1	**横山 孝治 先生** TEL：03-3717-1196	**金沢工業大学国際高等専門学校** 石川県金沢市久安2-270	**志鷹 英男 先生** TEL：076-248-1080
東洋大学京北中学高等学校 東京都文京区白山2-36-5	**井出 秀己 先生** TEL：03-3816-6211	**(株)私塾界** 東京都豊島区東池袋1-39-1三善ビル3F	**山田 未知之 様** TEL：03-3987-0838
大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12	**三浦 圭 先生** TEL：03-3762-7336	**デザインオフィススズキ** 千葉県柏市柏687-6	**鈴木 学 様** TEL：04-7164-8276
東京成徳大学中学高等学校 東京都北区王子6-7-14	**大矢 忠和 先生** TEL：03-3911-5196	**(株)POPER** 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21-4F	**栗原 慎吾 様** TEL：03-6265-0951
日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32	**河村 文夫 先生** TEL：03-3467-2130	**(株)塾と教育社** 東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	**加藤 麻由美 様** TEL：03-6265-6855
青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6	**伊東 充 先生** TEL：03-3782-1502	**(株)ブックモールジャパン** 埼玉県戸田市上戸田4-2-33 日教販戸田センター	**撹上 聡 様** TEL：048-447-7457
東京女子学園中学高等学校 東京都港区芝4-1-30	**鶴内 小百合 先生** TEL：03-3451-0912	**教育開発出版(株)** 東京都杉並区下高井戸1-39-12	**糸井 幸男 様** TEL：03-3304-5291
駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25	**河合 孝允 先生** TEL：03-3828-4141	**(株)クロノクリエイト** 東京都渋谷区神宮前5-52-2-2F	**添田 大亮 様** TEL：03-5468-6986
愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1	**高橋 英夫 先生** TEL：03-3658-4111	**(株)声の教育社** 東京都新宿区新小川町8-15	**中村 千尋 様** TEL：03-5261-5061
安田学園中・高等学校 東京都墨田区横網2-2-25	**藤村 高史 先生** TEL：03-3624-2666	**アロー教育総合研究所** 東京都千代田区神田小川町3-8-5F	**古川 貴央 様** TEL：03-3259-2851
日本音楽高等学校 東京都品川区豊町2-16-12	**伊庭 崇 先生** TEL：03-3786-1711	**(株)サンケイワーク** 大阪府大阪市福島区玉川2-8-4-3F	**橋本 光幸 様** TEL：06-6445-0688
立正大学付属立正中学高等学校 東京都大田区西馬込1-5-1	**今田 正利 先生** TEL：03-6303-7683	**(株)インフィニティライフ** 東京都新宿区四谷4-3 エクシーナ四谷1001	**高木 直人 様** TEL：03-6380-5894
上野学園中学校・高等学校 東京都台東区東上野4-24-12	**川村 翼 先生** TEL：03-3847-2201	**モノグサ(株)** 東京都千代田区飯田橋3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル7階	**中村 大志 様** TEL：090-1657-8610
二松学舎大学付属高等学校 東京都千代田区九段南2-1-32	**車田 忠継 先生** TEL：03-3261-9288	**デジタルハリウッド(株)** 東京都千代田神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティアカデミア4F	**西 彩音 様** TEL：03-5289-9267

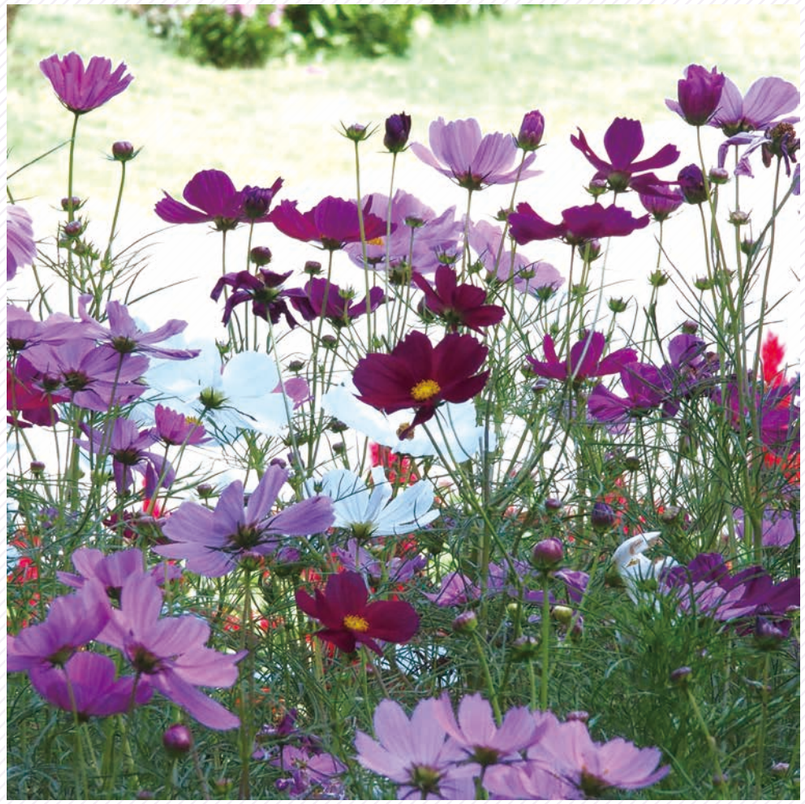
私塾ネットセンター広報 ｜ 発行：田中宏道、編集長：中村直人、制作：谷村志厚、鈴木 学

All Nippon Shijuku Educational Network - Official News Magazine Since 2002

全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第79号
（2022年11月号）



コスモス（キク科コスモス属　原産地メキシコ）

全日本私塾教育ネットワーク
理事長：田中 宏道（LAPIS鎌ヶ谷）　TEL：047-443-1010
センター事務局：長江 広紀（英数学院）　TEL：044-788-7556
〒211-0044 神奈川県川崎市中原区 新城5-9-25　英数学院内
https://shijuku.net

理事長コラム

田中 宏道（LAPIS鎌ヶ谷・千葉県）

「全国藩校・教科書に載るもの・塾巡り」第一弾！「二宮金次郎に学ぶ」ご報告

「収入の３分の２で生活せよ！経営せよ！」あっ！城先生が言ってたぁ！！山口県、芸城学院の城先生です。

尊徳さんの最期の場所は日光。その日光「開倫塾」さんで「金次郎さんの人生に学ぶ会」を開催しました。尊徳さんの訓（おし）えの一つ「分度（ぶんど）」とは「収入の3分の2で生活せよ」なんです。エリア中国での勉強会で10年ほど前に城先生が仰ったお言葉がこれだったのです！

■至誠（しせい）・勤労（きんろう）・分度（ぶんど）・推譲（すいじょう）

「真心を中心に据え、一所懸命に働き、自分の分度を決めて収入の3分の2程度で生活すれば必ず豊かになれる。豊かになったら自分（子や孫）や他人（社会）のために譲りなさい。そうすれば心豊かな充実した人生を送れる」という訓（おし）えです。この訓えは人生だけでなく国や地方の経営、会社の経営に活かせます。これが今回の学びです。

子どもたちには自称８１歳の私、田中彦左衛門（教室での芸名）。実生活では還暦を迎え、「えええええっ！」っていう出来事の連続…。それらをしかと受けとめると「これからの15年、世の中にお返しなさぁい。」と天がささやいているようです。みなさまから頂戴した素敵なことを後輩たちや世の中にお返ししなさいと。

目の前の子どもたちが元気に育つためには自ら学ぶべきだと思い、さんざん外を見させていただきました。その中で…。子どもの頃から教わってきた歴史や世界観がどうも真実とは違うと（薄々は気づいていたのですが）明白に知り始めました。

子どもたちが自分に誇りを持って生きられるように、そして少しでも世の役に立てるようにと「全国藩校・教科書・塾巡り」「気ままな授業勉強会」「歴史の勉強会のご紹介」を始めています。少しでもご参加いただけると嬉しい限りです。

■金次郎さんからの学び、「至誠」

執行草舟（しぎょうそうしゅう）さんは仰いました。「日本には宗教や哲学がないのではない。日本には哲学がありすぎているのだ。生活そのものが宗教的・哲学的で、わざわざ『宗教』を意識する必要のない生活をしている。日本人は縄文の時代からの経験で、すでに宗教心がそなわっている」と。

なぜ日本人は切腹ができたのだろう。今、僕に切腹の覚悟はあるか？長年の疑問です。学んで思いました。日本の哲学・宗教の根っこは「誠」ではないかと。

「誠」のためには「己（おのれ）の損得」を越え、「己の生死」をも顧みない。授かった1つ1つの命は大切です。せっかく授かった命を何に使うのか？我よりも大切なものに使う。魂は永遠に生き残る。「誠」で生きると、己の魂が認めてくれる生き方が重要で、現世の肉体の苦痛は後回しなのかもしれない…。最近学んでいる歴史が金次郎さんのおかげで「誠」で繋がった気がしました。

「学問とは、人の人たる道を学ぶことなり」水戸光圀公のお言葉です。営々と学び続けたいと思います。

この会に全面的に協力くださった開倫塾の林先生、ご参加くださった玉城先生（修学舎）、鈴木正之先生（いぶき学院）、仲野先生（ナカジュク）、柳先生（創学舎）、長江先生（英数学院）、ありがとうございました！みなさま、次回、お待ちしております！

追伸：映画「二宮金次郎」のDVDを手に入れました。上映会しますか？次回の授業勉強会は12月8日（木）算数・社会です。お待ちしております。

全国藩校・教科書に載るもの・塾巡り 第一弾！

「二宮金次郎に学ぶ」

令和4年／2022年9月25日（日）～26日（月）

■11:00 開倫塾 日光今市校（校長大橋弘子先生）訪問・見学
■11:15 開倫塾塾長 林明夫先生
「開倫塾の教育目標・行動目標・取り組み課題」
■11:45 開倫塾宇都宮西ブロック長 渡邉裕子先生「人間一生勉強」
■12:00 栃木県経済同友会 ㈱ユザワ代表取締役 湯澤隆司様「積小為大」
■12:15 開倫塾宇都宮東ブロック長五味渕久夫先生「新聞を教育へ(NIE)」
■12:30 お弁当タイム
■13:00 日光 二宮尊徳記念館
学芸員 斉藤康則様「報徳仕法の集大成」ご講話と館内をご案内いただく。
衆議院議員・元今市市市長・前栃木県知事 福田昭夫様
「報徳のまちづくり」「分度推譲の栃木県づくり」
映画「二宮金次郎」上映
■16:45 報徳二宮神社 参拝
■17:00 日光珈琲玉藻にて、おいすぃ～コーヒーをいただく。
■18:00 ペンションユニー。一棟貸し。自炊のため買い出し。
■19:00 玉城先生の料理。柳先生のBBQ焼き当番のおかげで、それぞれの塾事情についてゆっくりお話しすることができました。内湯、天然野天風呂2つの有り難い一夜でした。
■翌8:00 朝風呂、朝食などなど。ヤクルト1000。
千葉の梨で朝食です。
■10:00 解散。希望者は、日光東照宮へ

田中宏道 Facebook / ラピス鎌ヶ谷 Instagram

エリア通信

エリア東北代表　佐々木 康
（やまばと学習館・青森県）

今回は、私や前代表の安藤先生、渡部先生や扇野先生などなど、エリア東北の青森勢が正会員として加盟している「青森県学習塾協議会」についてご紹介いたします。

青森県学習塾協議会（以下：協議会）は平成5年に県内学習塾の任意団体として設立されました。編集部・研究部・広報部および事務局を設け、入試分析や研修会の開催などを積極的に行っております。先日は協議会の公式Twitterも開設されました。県内の入試情報をはじめ、教育に関する情報を掲載しています。

私は副会長兼広報部長を務めておりまして、毎年開催される協議会の「研修会」の準備の真っ最中です。

コロナ渦のためオンラインでの研修会としており、昨年は東京書籍英語編集部長の榮様、東京都ラボ寺子屋塾長の小泉先生をお招きし、講演をしていただきました。今年度は再び東京書籍編集部様（今年は数学編集部の方）と、八戸の私立高校の先生をお招きし、お話をしていただきながら勉強をしたいと思います。
会員同士、なかなか会ってお話をする機会も減っている中ではありますが、オンラインツールの便利さを活用し、こういった講演を開催できるものと思います。近日中に当会ホームページやTwitterにてパンフレットが掲載されますので、ぜひご覧になってください。

私事ではありますが、この秋は忙しくなりそうです。地域の小学校の校長先生から、フリースクール（不登校や保健室登校のお子さんの“居場所“）を開設するにあたり、そのお手伝いをすることになりました。

文部科学省が公表している 2021 年度『問題行動等調査』をもとに、令和 2 年度の都道府県別の不登校生徒数（児童数）とその割合を見ると、小学校 63,350人、中学校 132,777 人と、驚くべき数です。原因の一つとして、コロナ渦において緊急事態宣言発令による休校、そして臨時休校が解け、学校が再開しても、なんとなく学校に来たくないという「不登校予備群」の子たちが、学校に行かない生活に慣れてしまいました。その結果、学校が再開後もそのまま登校しないケースが増えたそうなのです。

私たち学習塾が、地域の学校のお手伝いに携われるのはなかなか無い機会と思います。ボランティアとして、子どもたちと一緒に時間を過ごし、お話の相手になったり、時には勉強を一緒に頑張ったりしながら、安心して過ごせる空間づくりのお力になれたらと思っています。

エリア関東代表　渡辺 浩
（人間教育渡辺塾・東京都）

コロナ禍になっても、私塾ネット関東はオンライン形式（Ｚｏｏｍ）による定例会や対面とオンラインでのハイブリッド研修会を続けてまいりました。6月には高校入試問題や、大学入学共通テストをはじめとした大学入試問題から、我々学習塾が取り組むべき課題をあぶり出し、問題意識を共有いたしました。関東エリアだけでなく、地方からも多数の会員塾様、また他団体様からもご参加いただき、盛況に終える事ができました。ありがとうございました。

そして、10月23日（日）には秋の研修会という事で、「認知能力」にスポットを当て、この認知能力を鍛える特別講座を行っている会員塾様にご登壇いただき、その取り組みだけでなく、実例や効果などをお話頂きました。まずは「プログラミング」を導入されているナカジュク様。なんと、登壇者には仲野先生のお嬢さんである仲野日奈子先生が担当され、詳しくお話頂きました。実際にプログラミングをしている生徒さんの様子を動画で撮影し、説明をされていたのは若い先生ならではで、大変参考になりました。

２番目は朝日学習館の梶原賢治先生。４月の全国研修大会から連続でのご登壇となりました。実は梶原先生の全国研修大会でのお話は不完全燃焼だった先生が多く、リクエストが多数ありましたことからお願いさせていただきました。すでにご承知の通り、梶原先生の取り組みは学習塾の基本であり、生徒さん自らが学ぶことを楽しむ、そんな素敵で、かつ学力を向上させる取り組みをなさっています。梶原先生オリジナルのパズル問題は簡単そうで奥が深く、四谷の小学生テストで全国1位が出るのも不思議ではありません。会場にいらした先生方も思わず童心にかえり、楽しく梶原先生の授業を受けていました。

３番目にご登壇いただいたのは「ロボット教室」をされているのびのび学習教室の長原糸惠先生。ヒューマンアカデミーさんと連携でその取り組みをご紹介いただきました。ロボット教室は一見理系向きかと思われますが、その実論理的思考力の形成に向いていることがわかりました。

最後は私塾ネット関東研修部長でもある秀英ゼミナールＳＳ教室の宮澤歩先生。3人の先生方がどういった経緯でこの取り組みをされ、またどのような効果が期待できるかを総括され、さらに、自塾の取り組みとして、漢字パズルや論理的思考力での取り組みをお話いただきました。宮澤先生の「アルクメソッド」もっと広めていきたいですね。

今回ご登壇いただきました先生方におかれましては、コロナ禍でお忙しいときにも拘らず、こちらのお願いにお応えいただき、誠にありがとうございました。今後とも会員塾様への情報共有は勿論の事、生徒さんへのメリットのある研修会を今後も続けてまいります。12月11日（日）には、次年度の教材研究のための年末研修会を埼玉県私塾協同組合様（ＳＳＫ）と共催で行わせていただきます。お楽しみに！

エリア中国代表　西本雅明
（パワーゼミ西本・広島県）

ついに待望の，対面での研修会＆忘年会を開催することになりました！
もちろん会社の方針で宴会を伴うような会には，まだ参加できない会員もいらっしゃいますが，なんとか少しずつ日常が取り戻せつつあると感じます。集まれる喜びだけに浸っていた会ですが，なんと千葉から田中宏道理事長がご参加の予定ですから，急に気楽ではなくなりました。（本当に感謝しています。お会いできることを純粋に楽しみにしています。）しかし，ちゃんとしなきゃと，緊張しています。今年は11月13日～14日に福山市鞆の浦で行います。坂本龍馬が率いる海援隊が大洲藩（愛媛県大洲市）から借り受けた「いろは丸」が紀州藩の船と衝突したのが鞆の浦の沖です。「いろは丸」には大量の銃器が積載されていたとの龍馬のはったり（?）から紀州藩は7万両もの賠償金を土佐藩に支払いましたが，龍馬は受け取る前に暗殺されてしまいました。1980年代に海底に眠る「いろは丸」は発見され，銃器が無かったことから（龍馬のはったり）と今では考えられています。さて，内容ですが（余談ですが「内容」と「無いよう」は音が同じですね），13日は増井先生のお力で，船を格安でチャーターできましたので，瀬戸内海に浮かぶ石切の島をめぐり，魚介の昼食をいただく予定です。増井先生の出身高校は村上水軍も黙るほどの実力者ぞろいですから，逆らっては福山では生きていけません（これも余談です）。そして河浜先生のガイドで鞆の浦の歴史散歩をした後は，瀬戸内の島々を眺めながらの大宴会の予定です。少しですが以下に鞆の浦の案内を記載しました。福山方面にお越しの折には，ぜひご連絡ください。ご案内いたします。
（余談ですがガイド代はタダです）

《潮待ちの港としての鞆の津》
瀬戸内海の海流が鞆の浦を境にして東西に潮の流れが逆転することから，古代より**潮待ちの港**として知られていました。また鞆の浦には古い町並みが残り，江戸時代の港湾施設である「常夜燈」、「雁木」、「波止場」、「焚場」、「船番所」が全て揃って残っているのは全国でも鞆港のみです。江戸時代中期と後期の町絵図に描かれた街路もほぼすべて現存し，当時の町絵図が現代の地図としても通用する。そのような町は鞆の浦以外には例がないと言われています（余談ですが，行ってみたくなりましたか？）。
※2017年に重要伝統的建造物群保存地区に，2018年に日本遺産に認定されました。

エリア四国　山本壮太郎
（稲伸ゼミナール・香川県）

稲伸ゼミナールはこれまで数多くの塾外イベントを実施してきた。それは、教科の学習に限らずに、子ども達の成長につながる様々な体験機会を与えたい、という思いが原動力になっている。
2022年9月18日、当塾が運営する中高生向けPythonプログラミング教育ブランドm.PIMEは、日本財団・イエローピンプロジェクト共同主催の海と日本PROJECT「プログラミングで海のSDGs！」に香川県協力企業として参加し、小中高生に海のSDGsに関する理解を深めてもらうイベントを丸亀市で開催した。

本イベントは、四国水族館館長、日本ウミガメ協議会会長である松沢慶将先生による講演を通して海に対する理解を深めてもらうと共に、「海の豊かさを守ろう」というテーマに対し問題意識を高めながら、ワークショップ(WS)を通じて、子ども達がプログラミングによる社会課題解決を体験する新しい学びの形である。
中高生向けWSのテーマは「Pythonで人と魚の未来を予想しよう！」である。生物の捕食被食の関係による個体数の変動を表す数理モデル「ロトカ・ヴォルテラ方程式」を題材に、本WSでは子どもたちが視覚的に分かりやすく捉えられるよう、グラフを用いることにした。各自が独自に設定したパラメータを基にグラフを描画、そこから読み取れることとして海が将来どうなるかを分析、それを全員で共有することで、データ分析に対する理解を深めることができた。また、m.PIMEオリジナルツール「Pythonボード」を開発したことによって、今までのPythonの経験の有無に関わらず、子ども達が課題に向き合うことができた。決して容易くはないテーマを扱いながらも、子ども達の表情は終始積極的で真剣そのものであり、様々な分析意見を聴くことができた。子どもが成長するためには正答を教科書で学ぶだけではまったく足りない、試行錯誤や妥当解の重要性を改めて実感した1日であった。
また、参加してくれた子ども達への特典として、今回から修了証としてオープンバッジを採用した。オープンバッジとはブロックチェーンと呼ばれる技術を使った、知識やスキルを証明する世界標準規格のデジタル証明書であり、日本国内では、東北大学、早稲田大学、数学検定協会などの大学教育機関や検定団体が採用している。今後、様々な資格や教育課程の修了に利用されていくと考えられる。
昨年2021年はコロナ感染状況が酷かったため、やむなくオンライン方式による実施に留まったが、今年は丸亀市市民交流活動センターマルタスにて、リアル対面開催をすることができ、地元テレビ局の取材協力の元、イベントの様子が放映された。

賛助会員紹介

<石川県金沢市 / 白山市>

国際高等専門学校　―大学受験を意識せず、やりたいことに没頭―

国際高専入試センター次長　志鷹英男

15歳から英語でAI、ロボティクス

国際高専は、未来社会の基盤となるAI、IoT、ロボティクス分野の実践力を15歳から英語で涵養する高等教育機関です。「白山麓キャンパスでの全寮制教育」（1年、2年）、「1年間のニュージーランド留学」（3年）、「金沢工業大学と共有したキャンパスで大学生と共に学び、研究活動」（4年、5年）という多彩な活動フィールドを通じて、新しい価値を創出できるグローバルイノベーターを目指します。併設校の金沢工業大学とは「KIT/ICTスクールシステム」と呼ぶ9年間の一貫教育を構築していることも特色です（高専5年間+金沢工業大学3年次編入・大学院修了までの4年間）。大学受験を意識せず、やりたいことに没頭できるのが国際高専です。

プロトタイプを作りながら考える

国際高専では「エンジニアリングデザイン教育」を教育の中心軸に据えています。誰一人取り残さない持続可能な世界の実現に向けて、授業で修得した知識やスキルを応用してイノベーションの創出に取り組む国際高専オリジナルの教育です。エンジニアリングデザイン教育には、工学教育の世界標準であるCDIO(Conceive、Design、Implement、Operate）とユーザー視点での価値創出手法である「デザインシンキング」を取り入れています。
"ペルソナ"と呼ばれるユーザー像を想定し、そのユーザーにとって何が問題で、何が必要とされるのかアイデアを創出。校舎内の「Maker Studio」にある、レーザー加工機や3Dプリンター、デバイスなどを使って、モノやシステムなどのプロトタイプとして具体化し、よりよい解決策を考えます。「3Dプリンターでアイデアを具体化するにはCADソフトで3Dモデリングを作る」、「レーザー加工機で形にしたいものはIllustratorでデザインする」、「プログラミングでデバイスを思いのままに動かす」といったように、授業で学んだ知識、スキルを楽しみながら実践する場にもなっています。1年生は身近で役立つものを創出（例えばバイオミミクリーとロボティクスで人を楽しませ、驚かせるおもちゃ作り）することでエンジニアリングデザインのプロセスを実践し、2年生になるとフィールドを校舎外に移し、白山麓地域のリアル課題の解決に取り組みます。

◀1、2年生が過ごす全寮制の白山麓キャンパス

大学院レベルの内容も英語で楽しみながら学ぶ（2年生）▼

開発中の自動運転トラクター。▶
3Dプリンターなどを使い
学生が自作。

国際高専を選択する意義

例えば、中学の段階でなんとなくコンピュータやロボティクスに興味がある場合、高校に進学し、大学に入学して本格的に取り組めるのは一般的に大学3、4年になってからです。つまり中学卒業後、6、7年後のことになります。その間、目を輝かせ続けられるでしょうか。そうした問題意識をお持ちの保護者は実際にいらっしゃるようですし、また自分はロボットがやりたかったので、大学進学まで待つ必要がなく、英語で学べる国際高専に進学したという学生もいます。この学生は2年生のエンジニアリングデザインで仲間と取り組んだ「獣害対策のためのAIを用いたサル認識システムの開発」が電気学会　U-21学生研究発表会で最優秀賞受賞。4年生の現在は第4回リバネス高専研究費に全国で唯一採択され、世界的に開発が行われていない小規模農家向け自動運転トラクターの研究開発を進めています。やりたいことに取り組むことが大きな成長につながる一例です。
グローバル社会で英語とテクノロジーを駆使して人に役立つことをしたいという方は、国際高専で一緒にチャレンジしてみませんか。

国際高等専門学校
https://www.ict-kanazawa.ac.jp

＜東京都品川区＞

日本音楽高等学校 ―2023年より品川学藝高等学校へ―

伊庭 崇

全日本私塾教育ネットワークの皆さま、関係者の皆さま、日頃よりお世話になっております。東京、品川区にあります日本音楽高等学校の伊庭崇と申します。

コロナ禍の中での生活や学習活動が始まってから、早３年が経とうとしています。当時は一体どうなってしまうんだろうと日本国中が、いや全世界の人々が不安と悲しみを抱き続ける中、医療従事者の方々は目に見えない敵と戦い続けてくれました。

同じように教育界も戦ってきました。児童生徒たちの安全安心を第一に考え、その中で学習できる環境を整え、新たな学習方法を見いだし、「子どもたちのために」を合い言葉に、今もなお研鑽に努める日々を送っています。

当時、小学6年生、中学3年生だった児童生徒たちは卒業式を行えず、そして新たな門出である学校での入学式も行えないという状況でした。その子どもたちは今、中学3年生、高校3年生となりました。

本校の高校3年生も、出身中学校での卒業式を行えなかったという生徒も多く、本校での入学式も行えませんでした。在学中も文化祭やステージ発表会、スポーツ大会、修学旅行など、様々な行事が中止または縮小された学年の生徒たち。その生徒たちがこの春、卒業していきます。3月、世の中がどのような状況になっているかは分かりませんが、人数制限の無い中、大きな声で校歌を歌える盛大な卒業式を行ってあげたい。盛大でなくとも、心に残る卒業式を挙行してあげたいと切に願うばかりです。

品川学藝高等学校へ

その卒業式を終えると本校は、令和5年度より生まれ変わります。120 年の歴史を持つ本学園の高等学校が『品川学藝高等学校』と校名を変更し、女子校から男女共学校となります。そして普通科に「eスポーツエデュケーション」と「リベラルアーツ」という新しいコースを設置し、学力の3要素である「知能・技術」,「思考・判断・表現力」,「主体・多様・協働性」を養い、『人間力』の育成と向上を目指します。

特にeスポーツを教育のツールとしたコースの設立は、おそらく全日制では日本初のことでしょう。

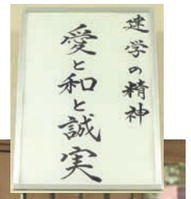
一方、芸術に特化した本校の音楽科。昨年度は、あの宝塚音楽学校に2名の合格者を輩出しました。その音楽科はコース名を変更します。現音楽コースを「ミュージックコース」に、現舞台芸術コースは「パフォーミングアーツコース ～ミュージカル専攻～」に、そして 1988 年に全日制としては全国で初めて設立された現バレエコースは「パフォーミングアーツコース ～バレエ専攻～」とそれぞれの名称を変え、専門性をより強化したカリキュラムに改変し更なる進化をします。

在校生のパフォーマンスは、YouTube の本校公式チャンネルで視聴できますので、是非ご覧ください。

もちろん両科とも、本学園の併設校である幼児教育者育成の有明教育芸術短期大学との連携も継続していきます。

「愛と和と誠実」を建学の精神とした本校は、新たな一歩を踏み出します。

未来を担う「子どもたちのために」。



YouTube
日本音楽高等学校 公式チャンネル

日本音楽高等学校
https://www.nichion-h.ed.jp

日本民間教育大賞授賞式

―西畑正夫先生が受賞―

文：私塾ネットセンター広報部長　中村直人

令和４年７月２０日、株式会社 塾と教育社主催の日本民間教育大賞の授賞式・記念講演会が、東京神田・学士会館において催されました。午後2時の開会の後、株式会社早稲田アカデミー代表取締役の山本豊氏による、記念講演「早稲田アカデミーのCXとDX」がありました。中小塾とは少々スケールが違いますが、コロナ禍のピンチをデジタル改革の断行によりチャンスに変え、売り上げを伸ばし続けているということでした。次に、日本民間教育大賞の授与式があり、本年は最高功労賞に4名、特別功労賞に1名、以下の通り受賞されました。

◆最高功労賞［受賞理由］

奥松良榮氏（創研塾）
［東京都を中心とした地域の民間教育の発展に寄与するとともに全国の民間教育事業者の交流に寄与した功績］

田原サヨ子氏（田原グループ）
［和歌山県を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与した功績］

西畑正夫氏（厚木ゼミナール）
［神奈川県を始めとする全国の民間教育の発展に寄与した功績］

福武總一郎氏（株式会社ベネッセホールディングズ）
［通信教育や模試事業等々の教育事業を通じて全国の民間教育の発展に寄与した功績］

◆特別功労賞［受賞理由］

故藤井史昭氏（株式会社増進会ホールディングズ＊Ｚ会）
［通信教育や教室事業等々の教育事業を通じて全国の民間教育の発展に寄与した功績］

西畑正夫氏

昨年は私塾ネットの故平林治先生が受賞され、今年は、元私塾ネット会員の西畑正夫先生が受賞。現在療養中とのことで、お嬢様の西畑妙子様（右上写真中央）が代理で出席されました。先生は、病室で ZOOM を見られていたようです。そして、全塾連以来のご友人の加藤実先生よりお祝いの一文をいただきました。

西畑先生、受賞おめでとうございます。長年の功績が評価されたわけです。西畑正夫先生とは「NPO 法人全国教育ボランティアの会」で活動を共にさせていただきました。旭川、秋田、松本、広島、小豆島、高松と全国飛び回りました。厚木ゼミナールの工房で「ハノイの塔」「望遠鏡づくりセット」「ミニプラネタリウムづくりセット」「パンパイプづくりセット」「空力翼艇づくりセット」「魔方陣づくりセット」「ブーメランづくりセット」「暖かカイロづくりセット」「備長炭電池づくりセット」等々のキットを製作していただきました。こう書きますといとも簡単に準備できたように思われるでしょうが、たとえば「ハノイの塔」を例として説明いたしますと①細い棒３本、②直径の異なる穴の開いた円板５枚、そして③3つの穴の開いた台座、合計９点の部品が必要になり、それぞれを切断、穴あけと大変な作業になるわけです。これらを西畑先生の工房で一手に引き受けていただいたわけです。常日頃塾での使用のために考案された教材があったればこそです。

また、2010年3月11日には「厚木ゼミナール創立45周年記念科学講演会」を主宰されました。国立天文台教授渡部潤一先生の宇宙のお話、大変興味深く拝聴させていただきました。大勢の塾生、親御さんたちの参加、活気ある創立45周年記念科学講演会でした。

2021年3月に突然のお葉書。手術されたと。大変驚き、とても心配になりました。あれから1年半が経過、回復されたのでしょうか。まだコロナが収束しておりませんので、無理せず養生なさってください。

令和4年9月4日加藤 実（私塾ネット監事）

立正大学 第7回高大接続フォーラム

―映像アーカイブの紹介―

文：私塾ネットセンター広報部長　中村直人

2022年９月17日、立正大学８号館にて、「あらためてわかる!!新学習指導要領と教育ＤＸの本質　―「学習観」のトランスフォーメーション」というテーマでのシンポジウムが開催された。司会は、山内洋氏（大正大学理事長付き特別補佐高大接続担当）。講演者は、以下の４名。

1.「DXの思考法」による未来の教育像　西山圭太氏（東京大学未来ビジョン研究センター客員教授）
2.新学習指導要領を使いこなすカリキュラム・授業・学びとは　合田哲雄氏（文化庁 次長）
3.学び続けられる生徒を育てるＳＴＥＡＭ教育　品田健氏（聖徳学園中学・高等学校教諭 学校改革本部長）
4.探究学習と教科学習を架橋する概念ベース学習　佐藤浩章氏（大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部・准教授）

また、４名の登壇者と大正大学副学長の神達知純氏を交えての『学力観を多層構造でとらえ直す教育・社会へ』というシンポジウムが開かれた。当日のアーカイブ動画が Youtube 上にて公開された。下の QR コードよりご視聴ください。　提供：大正大学 総合政策部 総合政策課

TAISHO UNIVERSITY
YouTube

第７回高大接続フォーラム
『あらためてわかる！！新学習指導要領と教育 DX の本質』

Studyplus for Schoolを導入して ―スタプラの効果的な使い方―

文：日米文化学院　柳田浩靖

「Studyplus for School（以下スタプラ）」を導入して約1年半、当塾の高校部の運用は大きく変わりました。

今回、「スタプラについて書いて欲しい」とのご依頼を受け、5月に「Studyplus for Schoolアワード」を受賞した際の記念講演を文字で起こしたものを共有させて頂きます。お役に立てれば幸いです。以下、講演内容になります。

当塾は1982年に父が創業し、私が2代目を務めています。私が代表に就任した時、経営状態は芳しくなく生徒数は50人程度でした。そこでまずは生徒数250人を目標にして経営を続けたところ、10年で超えることができ、次に300人の壁にぶつかりましたが、2019年には突破できました。

一方で高校生の人数が少し減ってきていたことに危機感を感じていたこともあり、スタプラを導入しました。

もともと、各方面から「スタプラは良い」という話は聞いていました。しかし私は「普段からコミュニケーションを取っているし、生徒にスマートフォンをあまり使わせたくない」と思い、正直言って必要性をほとんど感じていませんでした。

そんな中で導入を決めた背景は、創業から1教場主義を掲げていたことが挙げられます。1教場を貫きながら生徒数を増やし、増収増益を果たすためには垂直展開が必要でした。そこで、高等部を開始したのが、自分が塾に関わってから4年後のことです。基本的には中学部出身生が中心で、いかに継続率を上げて、長期間続けてもらうかがポイントでした。

当塾では先代から「戯れに人は雇わじ」という教えがあり、私と身内2人以外は学生講師主体で運営しています。講師が塾のことをよく理解しているかどうかが、塾の運営に非常に影響します。そのため、現在20人以上の学生講師がいますが、すべて元教え子を採用しています。そういった意味では、高校部は講師の養成機関として機能しています。

また、当塾の特徴は地元で気安く（来易く）勉強できることで、自習室の充実は常に意識しています。高校3年生には、専用の特別部屋も用意していました。価格も1教科1万円くらいの安価で、地元の塾としては、圧倒的な実績も出ていたので、特に運営に関しては問題もありませんでした。

ただ、ここ数年、高校3年生になってから他塾や予備校に生徒が流出するケースが増加。コロナの影響もあり、人数が減っていきました。

人数が減っていった理由の仮説として考えたのが、全教科に対応できないということです。アットウィルや学びエイドなどの映像授業を導入していたものの、初めからほかの予備校への入学を考えている生徒には響きません。

また、当時は「宿題をチェックしてほしい」と言われても、大学に行くならそんなものは自分でやるべきだと思っていました。しかし、その考えは時代に合っていないようでした。そこで、「もしかすると、生徒は管理されたがっているのではないか？」と考え、生徒の学習を管理するという意味で、受験コンパスを導入し、運用してみましたが、上手くいきませんでした。生徒は管理されたがっているというわけではなく、こちらが言ってもやらないということがわかりました。

次に、河合塾と併塾していた卒業生講師に話しを聞いたところ、「チューターがいるのが良いのでは？」という意見が出ました。普段から悩みや相談できる人がいる環境を作ろうと思い、チューター制度を導入し、LINEを使って連絡したり、悩み面談をしたりといった業務をお願いしました。

しかしチューター側が「自分たちの存在意義がわからないので、辞めます」と言い出しました。というのも、当塾の良さは中学時代に教わっていた講師と高校生になってからも話すことができることで、生徒はわざわざチューターに質問や相談をしないというのです。

こういった状況の中、城南進学研究社COOの千島さんが「スタプラを導入したら、生徒の食いつきが良い」と話しているのを聞きました。そのお話しの中で自分に刺さったキーワードが、「超多頻度コミュニケーション」でした。生徒が欲しているのは、管理ではなくコミュニケーションだと気づかされたのです。

また、スタプラなら、チューターも「いいね」を押したりコメントを書いたりと仕事があり、存在意義も見出せます。そこで、スタプラの導入を決定しました。

当塾は費用の安さがウリの一つだったため、スタプラを導入することによる値上げに悩みました。しかし、保護者にとって大切なことは金額ではなく、子どもが志望校に合格することです。効果と費用の折り合いをどうつけるか考え、思いついたのが「スタプラはeトレをセットにする」という方法です。

eトレは定期テスト対策にもなりますし、スタプラを使えば進捗状況の管理もできます。また、グループ面談の際にeトレによる「効果測定」も行うことにし、3点セットで5,000円値上げになると説明会を行ったところ、保護者の方々にも十分にご納得いただけました。

スタプラの導入後、その管理はグループ面談担当のチューターに任せました。また、導入にあわせて新たに4人採用して、現在は専門的に業務を担当してもらっています。

チューターを研修するに際して、教育理念など運営の根幹については話せるものの、具体的な業務についてはどのように指導していくべきかが、運用にあたっての悩みでした。そこで千葉学習塾協同組合にも加入されているテラコヤイッキューの渡邉靖子先生にお声がけし、研修をお願いしました。現場でスタプラの使い方に精通した先生からの研修は本当に助かりました。

次に検討したのが、チューターの勤怠管理についてです。スタプラの管理を任せるとすると、チューターが「いいね」を押す時間や内容のチェック、メッセージを送る時間をどう管理するかが問題になります。そこで、チューターにもStudyplusを使って、実際にStudyplusをチェックした記録や面談記録をつけてもらい、それをアナリティクスで管理するようにしました。そうすることで、生徒が「記録が面倒」と思う気持ちなどがわかるだけでなく、各機能の使い方も実感できています。

また、ラボ寺子屋の小泉先生と高校講座の運用などについて、月1回面談をさせていただくことにしました。毎回、非常に濃い学びがあり、チューターも参加して勉強しています。

面談の際には、各自のアナリティクスを分析し、生徒同士で学習方法の改善作業もさせています。お互いの情報共有もさせて、同じような大学を目指している生徒同士で話す中で「こういう情報があったから、この大学に合格できた」という状況が生まれました。

スタプラを導入して

・退塾者の減少

→R2年度　高1　4/28（人）14%　高2　9/39（人）23%

R3年度　高1　2/21（人）9%　高2　2/26（人）7%

・大学合格実績の向上

→国公立R2年度3名 → R3年度9名(東大2名・一橋・東外大含む)

・売上→利益の増加

結果的に、スタプラを導入して退塾者が減少しました。高校3年生への進級タイミングで退塾した生徒は2人いますが、これは他塾に移ったのではなく別の私的な理由です。

また、大学合格実績が大きく向上しました。令和3年度は国公立大学への合格者が増え、自塾のシステムだけで東京大学や一橋大学などに合格者を出せたことで大きな自信につながりました。

アナリティクスを振り返ると、最も記録を入力した生徒は東京大学に、2位の生徒は一橋大学に、4位の生徒は東京外国語大学に受かりました。記入率が高い生徒が結果を出したことで、生徒に大きな影響を与えていることがわかります。

当塾では最近、ブロードバンド予備校を導入しました。ほかのオンラインツールは管理が面倒でしたが、ブロードバンド予備校はシンプルでフォローもかなり手厚かったです。これから、ぜひスタプラと連携してもらえたら嬉しいです。

また、自習室を充実させるために1年がかりの改装工事をしています。さらに、今後は小学生や中学生にもスタプラを導入しようかと検討しています。

最後に、私たちがスタプラを利用する理由は、生徒達にPDCAを実践させるためです。これは社会人になってからも活用できるスキルだと思います。また、利益と結果を生み出すことが出来なければ、ICTツールを使う意味はないとも考えています。

学習塾を運営する上で自分が大切にしていることはストーリーの蓄積です。色々な方との信頼関係が構築されて行くことはもちろん、「塾をやっていて面白い！」という感覚の持てるストーリーがあることが大事だと思っています。スタプラはフットワークの軽さも持ち味だと思うので、今後も引き続きよろしくお願いします。

スタディプラス
https://www.studyplus.jp

個性派プロ講師による徹底指導 / 四谷大塚YTnet提携塾
日米文化学院

日米文化学院
https://nichibei-school.net

2022年11月14日　全日本私塾教育ネットワーク　第79号

エリア報告 北から南まで

報告　福士 明美（ふくし英数教室・青森県）

ふくし英数教室の福士です。いつもどこかに出かけた話ばかりで恐縮ですが、今年の夏のオープンキャンパス参加についてご報告いたします。

以前、青森・東京間に3連休パスという格安JRチケットがあった頃、高校受験が終わった生徒たちと、大学見学プラス東京ディズニーランドに出かけていました。8年前の生徒たちが「東京には家族で行けるので、関西の大学に行きたい！」と言うので、それからは京都２泊３日の夏のオープンキャンパスに参加するようになりました。今年は３年ぶりに京都に行こうと準備していたところ、八戸の安藤先生と村戸先生も一緒に行ってみたいと仰ってくださったので、３塾合同イベントと相成りました！

8月5日、青森空港から大阪伊丹空港、空港バスで京都に入り、駅ナカの都シティ近鉄京都駅に荷物を預け、まずは同志社大学今出川キャンパスに向かいました。ここで商学部3回生の卒塾生Sさんにキャンパス内と京都大学を案内してもらい、四条河原町を散策しました。（舞妓さんにも遭遇できてラッキーでした！）夕食はデパ地下などで各自購入したものをホテルの部屋でいただきました。

二日目はまず北野天満宮にお参りし、立命館衣笠キャンパスで事前予約していた模擬授業やイベントに参加しました。衣笠ではOCスタッフをしていた法学部３回生のIさんに会えました。スポーツ健康科学部を受験予定の生徒と私は一足先に衣笠を出て、びわこ草津キャンパスに移動し、今年から新しく実施される数学素養型AO入試の説明を聞き、赤本を購入してホテルに戻りました。安藤先生が衣笠のオープンキャンパス終了後、生徒たちを金閣寺に連れていって下さったので、京都に来たことを強く実感できたととても喜んでいました。

三日目は大阪いばらきキャンパスに向かい、ここでもOCスタッフの総合心理学部３回生Fさんに会い、飛行機の時間まで各自模擬授業などに参加しました。最後に立命館大学入学広報課の職員さんから大学名入りの文房具をお土産にいただいて帰路につきました。

北野天満宮にて

同志社大学彰栄館前

オープンキャンパスに参加し、先輩たちの活躍を目の当たりにして「自分もここで学びたい！」という次の目標が明確になると、当塾のような小さい塾からでも、生徒たちがあちらこちらに羽ばたいていくようになりました。これだから猛暑の中のオープンキャンパス、やめられません！

～追記①～

Andy's の安藤です。今回のオープンキャンパスは、まさに「百聞は一見にしかず」 でした。高校でのオープンキャンパスもコロナで中止となり、リアルなオープンキャンパスに初めて参加した子どもは（私もですが）興奮しっぱなしでした。今まで何回もお話だけ福士先生から伺っていたのですが、今回初めて一緒に参加させていただき、大変勉強になりました。全国から参加している真剣な高校生の姿を見て、大学受験が1年後の自分事であると、実感できたようです。やはり、「現地へ実際に行って体験する！」 に勝るものはないと思いました。来年もまた、参加したいですね。

～追記②～

あおば伸学塾の村戸です。私の塾も今回初参加！東北勢にとって、関東以南の大学の見学は各自で足を運ぼうとしなければ行く機会がないので、今回参加したメンバーは貴重な体験ができたと喜んでいました。キラキラした学生たちや広いキャンパス、充実した学生生活を紹介する各種イベントを間近で見ることで、大学というものがより身近に感じられたようです。このような形で、生徒たちのぼんやりしていた目標をより明確なものにするお手伝いを「塾主体で」できることに喜びを感じました。塾の恒例イベントにしようと思います。

エリア報告 北から南まで

報告　仲野 日奈子（ナカジュク・東京都）

こんにちは。ナカジュクの仲野日奈子と申します。

初めましての方も多くいらっしゃるかと思いますが、幼い頃から私塾ネットの様々なイベントに参加させて頂き私が一方的に知っている先生も多いと思います。

あの頃は、まさか自分が将来塾業界で働くとは思いもせず、ただただ楽しくイベントに参加させて頂いていた記憶があります‥！（その節は、大変お世話になりました）。

父である仲野十和田からも、私塾ネットの皆さまにはとてもお世話になっていると、よくお話を聞いております。

今回記事を書かせて頂く機会を頂戴し光栄に存じます。一昨年よりナカジュクで働き始めたのですが、新卒から3年間は人材業界で営業をしておりました。

幼い頃からナカジュクに関わる機会が多く、父が楽しそうに働く姿が印象的で、子供ながらに人と関わる仕事をしたいという思いがありました。

いずれ教育業界で働きたいと漠然と考えておりましたが、大学生の頃の私は営業職の経験をしたいと考え、人材業界で働くことを決意しました。

しかし、実際に働いてみると想像以上に過酷で、営業数字ばかりに捉われる人間になっていました。その頃の私は、仕事をこなすことに必死で、がむしゃらに働いていました。思い返すと辛いこともありましたが、今となってはその時の経験が全てプラスに活きています。

社会人4年目のある日、実家の塾に入ろうと考えていることを父に打ち明けました。自塾に入る前に他の塾で修行をさせて頂きたいと考え色々な塾を調べました。女性の働き方や、同世代、若い世代への考え方を学びたいと思い、奈良のKECに惹かれすぐに代表の小椋さんと会う機会を設けて頂きました。

コロナ禍で大変な時期でしたが、快く修行を受け入れてくださり1年間で沢山のことを学ばせて頂きました。仕事が心から楽しいと思えたのもKECで働けたことで実感できました。

1年間で吸収できることは全て持ち帰る気持ちで自塾に戻ってきましたが、現実にはうまくいかないことが多いです。笑

試行錯誤の日々が続きますが、それもまた楽しみたいと思います！

まだまだ未熟者の私ですが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

拙い文章になりましたが、最後までお読み頂きありがとうございます。

報告　石倉 朋樹（塾まなび・広島県）

【公立中学校と塾の合同模試を開催しました】

8/27（土）に福山市立向丘中学校において向中模試を開催しました。向丘中学校に通う生徒を中心に、まだ塾に通っていない生徒や他の中学校に通う自塾の生徒、他塾の生徒が参加しました。

全体で120名程の申し込みがあり、第7波で感染者数が増えた8月でしたが、100名を超える中学生が受験してくれました。私が中学校に訪問して、校長先生と意気投合したことがきっかけです。「学校と塾が子供達に勉強ができるようになってほしいという考えは同じだと思う。」と、校長先生からお話しいただき、何か一緒にできないかということになりました。

まずは地域の看板を上げているすべての塾にお声がけして、懇談を行いました。いまでは他塾の塾長へ初めてお電話するときに1分以内に「校長先生が会いたがっています。」と切り出そうと決めて、緊張しながら早口になったことを笑い話にしています。その後、当塾を含めて3塾で任意団体「水呑田尻教育アソシエイト」を立ち上げ、学校と打ち合わせを重ね、また教材会社とも会議を進め、広島県の公立高校入試に合わせた模試を使わせていただくことになりました。

公教育と私塾が一緒になり、地域の子どもたちの教育のために地域の力で盛り上げようと、模試当日はPTAの方々もご協力くださいました。保護者の方10名程お越しいただき、試験監督をしていただきました。ある試験監督をしていたお母さんが「自分の子供がちゃんと頑張って試験を受けているのか気になりすぎる。」とおっしゃっていたのが印象的でした。試験後の解説授業では当塾から私と講師の2名、他塾の塾長2名の計4名で解説授業を実施。

中学生や保護者、学校の先生方、他塾の皆さん、概ねよい評価をしてくださったようです。今回の催しはボランティアではありますが、学校側も費用負担をまかなうことに理解してくださったことで継続して行うことが可能となったこと、簡単な自塾の紹介ができたこと、地域のニーズがよくわかったことなど、結果として大変よかったと思っています。

第2回向中模試は10月に開催予定です。これからも地域の生徒たちに真剣に向き合って、研鑽を重ねていきたいと考えています。

左から、塾まなび石倉、向丘中学校教頭
向丘中学校校長、近隣の塾長2名

私塾ネット関東 秋の研修大会報告

[2022.10.23]

文：私塾ネット副理事　中村直人

2022年10月23日（日）午後2時より、私塾ネット関東主催の秋の研修会が、東京御茶ノ水のワイム貸会議室Room4Eにて開催された。会場とZOOMでのハイブリッド形式での研修会である。
テーマは、「才能を増長させる認知力」。今回の研修では、「学習のつまずき、対人スキルの乏しさ≒認知能力の乏しさ」と仮定して、認知能力を高める取り組みについて考えてみる。種々の実践例を4人の講演者の方達に紹介していただいて、質疑応答を行う。また体験授業もして頂いた。

司会は、事務局長の長江広紀先生。初めに、エリア関東代表の渡辺浩先生からのご挨拶。各塾ロボット講座やプログラミングなど認知能力を高めるためにいろいろな試みをされていますが、今回の研修大会では、単なる紹介に終わらず、やってみてどう生徒さんが変わっていったかなど、突っ込んだ話をして頂き、これからの塾運営に生かしていただきたいと、述べられた。

①第一番目は、ナカジュクの仲野日奈子先生による、プログラミング授業の紹介と報告。

自塾のICTコンテンツの中で、プログラミングの問い合わせが一番多く、プログラミングをゲーム感覚で体系的に学べる、QUREOというソフトを導入している。実際に、QUREOの中のキャラクターを右に10歩歩くというプログラムを実演していただく。

マウス一つで、コーディングエリアにイベントや動きのカテゴリーからブロックを積み重ね、コーディング・セーブして一つのプログラムを完成させていく。QUREOのキャラクターのアルゴくんが色々とアドバイスをくれて、それを元に試行錯誤しながら組み立てていく。次に実際の生徒さんの映像を流す。

色々と試しながら、思ったように動かせた時のVサインが印象的であった。

文章をよく読まなかったり、集中力が続かなかった生徒さんたちも、半年後には、物事を順序だてて考えたり、うまくいかない点を自分で解決するようになり、先生に質問することも減った。その結果、思考力が高まり、今まで以上にしっかり解説を読むようになった。問題点を仲間で話し合うなど、コミュニケーション能力が上がった。プログラミング検定3級に合格した小学生も出て来た。○メリット［コンテンツ面］：プログラミングが体系的に学べ、できることがどんどん増える。大学生・社会人になっても役に立つプログラミング言語の概念を習得できる。［運用面］管理が楽（指導力はあまり大切でなく、カルテ作成も不要）。初めての講師でも、「講師用体験版」で予習ができる。×デメリット「コンテンツ面」遊びと学びの境界が曖昧になりがちで、進度や成果に差が出てしまう。［運用面］注意しないと一人で進んでしまう。QUREOの時間帯として生徒をまとめないと、人件費がかかる。

②続いては、春の研修大会に次いでの、朝日学習館の梶原賢治先生の登場。

人は多様性の生き物！私たちの関わっている子供たちの個性の多様性を子供たちが、身をもって具体的に体現することが、多様化社会のメンバーとして生きていくために肝要。当館では、お絵かきや生き物飼育・モノづくり・自由研究のサポートなど子供たちの多様性の発見のツールとして欠かせない。何ができるかできないかは、基本的にはDNAが決めること。しかし、人の成長はそんな単純なものではない。子育ては、永遠のブラックボックス。そこにどのような芽を吹かせるかは、子育てと教育のやりがいのあるテーマだ。子供の個性に学年はない。子供の多様性への対応の中に学習塾の未来が輝くように思う。

当館では、この15年パズル教室を通して「幼小一貫」での子育てに関わることができた。幼稚園・保育園からかかわった子供たちの学力把握「考える力」の成熟度をどうはかるかだが、四谷大塚の全国統一小学生テストを利用するようになった。（注：先生の塾では、10年連続で全国1位を出している。）その算数は、ひらめきと考える力を要する算数と平面図形と・空間図形の混合問題で、150点満点中100点を一つの目標にしている。ひらめきと考える力なしに100点突破は難しい。

ということで、本日の模擬授業！100/150を超えるための当館における、日常の学習プログラムを体験していただく。

1. まず、お絵かき。点対称や90度回転・180度回転させたものを書く。絵もアルファベットばかりでなくバイキンマンや一反木綿。小麦の絵だと横にウクライナなど時事の話題のおまけもついてくる。
2. アナログゲーム。さいころをいくつも連結したものを渡され、表面の総和を出す。先生が採点して回る。教室は、1. から皆さん大盛り上がり。生徒さんに人気の教材というのが、良く分かる。
3. 四谷大塚の小2のサイコロの立体の問題を解く。

以上が90分授業で展開されているそうだ。

③3番手は、のびのび学習教室の長原糸恵先生のロボット講座の実践例。

最初にロボット教材を扱っている、（株）ヒューマンアカデミーの三井崇央さまに実際にロボットをお持ちいただき、動かし説明していただく。動きを自分でプログラムして動かせるそうだが、当日は接続がうまくいかず、残念でした。ダンゴ虫の動きなどは、見ていて大変インパクトがあり面白かった。ロボット教材製作者は、モノづくりの楽しさを伝えたいとのことであるが、保護者は将来役に立つ力、幼稚園・小学生の早いうちからプログラミング的思考力を養わせたいという希望があるようだ。

自分がやりたくてロボット教室を始めたが、そのうちこのロボット製作を国語の力に結び付けたいと長原先生は考えられたそうだ。沢山のパーツの名称を覚え、手順を指さし確認させチェックする。「手をかけず、目をかける」という方針で、すべて自分でやらせる。特に、終わってから長原先生に一人一人、何を作ったか、難しかったところや、どう解決したかなど言葉でしっかり報告できないと帰さないところが肝になっているようだ。

初めは何もできなかったT君という子が、続けているうちに国語の成績が大幅アップ。話すのも書くのも苦手だったのが、ある時作文コンクールに参加したら、入賞してしまった。それ以降自信を持ち、中学受験でも国語は、まったく問題なくできたそうだ。最後にT君の当該の作文用紙がスクリーンに映されたが、字がしっかりしているのに一同感心することしきり。

④最後は、私塾ネット関東の研修部長である秀英ゼミナールSS教室の宮澤歩先生。

本日は認知能力をキーワードに研修会を組み立てた。認知能力とは、記憶・知覚・注意・言語理解・判断・推論などの能力で、近年は思いやりとかやる気など非認知能力に焦点が当たっているが、本来両者は車の両輪のようなものである。ここで、今日の講演者の方々の話の中での認知部分と非認知部分を詳細に分析され、表裏一体であることを示される。（委細省略）

実際に学習に困難のあるお子さんは、認知能力の凸凹の凹の部分に問題があるようで、そこの引き上げが課題となる。そこで先生は、種々の教材を開発、使用されている。例えば、梶原先生のお絵かきの図形を漢字にして、字の細部をしっかり観察させ、漢字力・注意力を育てるプリントなど、いろいろと紹介される。それらを塾の開始時に短時間でやらせ、効果をあげているようだ。塾の使命の一義は「できないことをできるようにする、分からないことを分かるようにする」と考え、日々工夫・実践をされているようである。

くしくも、当日の各講演者様から異口同音に「言語を理解する力が大切」との言葉が聞かれた。そこが関東代表の渡辺先生の大変重んじられるところで、夏や秋の関東研修会では色々な面から深めて来た。充実した内容なので、是非他のエリア・団体の方達にも関東研修会にご参加願いたい。当日は、会場・ZOOMを含め20名の参加であった。

次いで、田中宏道理事長の講評と御礼、最後に関東副代表の柳田浩靖先生のメの挨拶で研修会は終了した（紙面の関係で、多く省略させていただきました点、なにとぞご容赦のほど）。

塾の日シンポジウム2022仙台大会報告

文責：鈴木 正之（私塾ネット会長）

さあ、来年は東京で35周年記念「塾の日シンポジウム」開催だ！

10月9日に「第34回塾の日シンポジウム2022仙台大会」（公益社団法人全国学習塾協会主催）が開催されました。塾の日シンポジウム仙台大会は、コロナの為に2年延期されやっと開催に漕ぎつけました。大会を運営された先生方の、それまでのご苦労とお気持ちを察すると、言葉で言い表せません。本当にありがとうございました。その2年ぶりのシンポジウムですが、記念式典から親睦交流会まで、顔を合わせることができたことが何より嬉しく思いました。来年は東京で35周年記念の塾の日シンポジウム開催です。学習塾団体合同会議でも千葉協同組合35周年に合わせて合同忘年会を開催。私塾ネット全国塾長職員研修大会は4月開催となります。とにかく塾の仲間が集う会は最高です。是非みんなで盛り上げていきましょう！ 以下今大会の概要です。

第34回塾の日シンポジウム2022仙台大会

開催日：2022年10月9日（日）会場：ホテルメトロポリタン仙台
※10/8前夜祭　松島遊覧船で島巡り
第一部　塾の日記念式典
第二部　特別講演　北川進氏
（京都大学物質、細胞統合システム拠点拠点長・京都大学高等研究院副院長）
講演テーマ「霞を食って生きる・科学技術は仙人の生活を可能にするのか」
第三部　親睦交流会

私塾ネット以外の学習塾団体イベントにも参加できます！

学習塾団体合同会議とは：「社会のために、必要なことを、必要な人に提供する」

（加盟団体）公益社団法人全国学習塾協会、全国学習塾協同組合、NPO 法人学習塾全国連合協議会、私塾協同組合連合会、東京私塾協同組合、埼玉県私塾協同組合、茨城県学習塾協同組合、神奈川県私塾協同組合、千葉学習塾協同組合、全日本私塾教育ネットワーク

学習塾に通う子どもたちの未来、業界の健全な発展のために
学習塾団体合同会議

検索！

学習塾団体合同会議
https://godokaigi.com

私塾ねっと誌上句会「春夏秋冬」

再開第六回（谷村選&評）

はぜ釣や大人子供の入り乱れ
自家製の柚子味噌送る妻ニヤリ　木内恭裕（徳島県）

はぜ釣りといえば、首都圏では東京湾の船釣りを想像する。大人子供が入り乱れる釣り風景はもちろん防波堤などでの陸釣り風景。豊かな海の幸を楽しむのどかな風景がなつかしい。

浜ジャズの汽車道歩けば天高し
夕月や思うことあり一人酒　長江勝秋（神奈川県）

10月8・9日、横浜ジャズプロムナードという音楽イベントが3年ぶりに復活した。長江さんはジャズ演奏を趣味とされていたので、このイベントの復活をさぞや喜ばれたことであろう。

味噌汁にすだち絞れと阿波の人
丘一面そよぐコスモス風やさし　中村直人（神奈川県）

徳島の方は秋の贈り物にすだち（酢橘）を重宝される。我々の理解ではすだちは焼き魚や酢の物に添える程度の知恵だが、阿波徳島の皆さんはどんな料理にも絞れとなるらしい。故郷の味覚は万能である。

星流る逝きてミハイル再評価
秋の暮れ青函の霧笛耳残る　監物一男（埼玉県）

ミハイルとはソ連最後の指導者ゴルバチョフのこと。ウクライナ戦争のさなか、彼は世を去りプーチンの不敬な対応が話題になった。下五の「再評価」にウクライナ戦争への世間の批判の声が集約されていよう。

啄木鳥の新居となれる大樹かな
落葉踏む音の岩に染む立石寺　谷村志厚（千葉県）

「閑さや岩にしみいる蝉の声」は言わずと知れた芭蕉の奥の細道の一句で、山形県立石寺の夏の景。「落葉踏む」の句は「閑さや」へのオマージュ、立石寺の初冬の景で遊んでみた。

編集部からお願い

次号は2月発行の新春号です。投句はお一人3句まで冬の季語でお願いします。締切りは1月末日です、ふるってご投稿ください。
●メール：t-shiko.1949@aim-net.co.jp

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長　長江 広紀（英数学院・神奈川）

8月8日に熱海へ行きました。川崎からだと東海道線で1時間半。多くの観光客が訪れていました。ボクの目的は花火でも温泉でもなく、現在放送中の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でも描かれた、源頼朝が配流のさなか源氏の再興を祈願したと伝わる伊豆山神社を訪れることでした（ミーハーです）。長い階段を上った先の社殿はそれほど大きくなく、頼朝と政子が逢瀬を重ねたといわれる「腰掛け石」が境内にありました。カップルが写真を撮っているのを横目に、座ってみたいという欲望を抑えました（笑）。

この神社のすぐ近くに、2021年に起こった熱海市伊豆山土石流災害の場所があります。急な斜面のため、まだ復興の途上（クレーン車が止まったまま）。現在は立ち入り禁止となっており、今も避難されている方々は戻ることができません。

熱海に来たのは親戚がいたからで（どこのホテルも満席でした）、この日は花火大会。「せっかくだから」ということで特等席を用意して頂きました。翌日は温泉に連れて行って頂き、伊豆の国市にある北条義時と伊賀の方（のえ）夫妻の墓をお参りすることもできました。

さて、私塾ネットに新しい仲間が増えました。エリア東北の丹治美香先生（一橋ゼミナール八木山校　宮城）とエリア関東の小林三博先生（わせスタ　東京）です。メーリングリストや広報、各種会合などで今後ご紹介できればと思います。おめでとうございます！

来年４月２３日、私塾ネット全国塾長・職員研修大会が東京・大井町で開催決定です。スケジュールを空けておいてください！

編集後記

広報部長：中村 直人

今回第79号の賛助会員のコーナーでは、来年度より「品川学藝高等学校」と校名変更と共学化する日本音楽高等学校さま、ユニークな教育の金沢の国際高等専門学校さまより入稿いただきました。お忙しい中、まことにありがとうございます。また、学校と地域塾と保護者が協力しあっての充実した模擬テスト実施例やプログラミング言語Pythonで人と魚の未来を予想する高度なプロジェクトなど、読み応えのある記事が集まりました。久しぶりに教務的な内容のスタディプラスの実戦的な使用例を、柳田先生に書いていただきました。これは、大変参考になるでしょう。事情により近藤先生の英語講座は次回掲載になりました。次号も皆様ご協力よろしくお願いいたします。

表紙の花 こ・と・ば

コスモス
（キク科コスモス属 原産地メキシコ）

コスモスの名の由来はギリシャ語の「Kosmos」で「美しさ」「秩序」「調和」を意味する。和名の秋桜の名の通り、日本では秋の野花を代表するものだ。桜の字があてられるのはピンクの花弁からくる印象だろう。だが写真のごとく花弁の色は様々で、キバナコスモス、イエローキャンパス、チョコレートコスモスなどがある◆コスモスといえば我々昭和世代がピントくるのが、山口百恵の歌う「秋桜」だろう。１９７２年10月のリリースで、さだまさし作詞作曲のヒット作だ。この時山口百恵はわずか18歳で、歌詞のモチーフである嫁ぐ娘の母親への感情など、まだまだ実感がわかなかったであろう。山口は結婚後に「ようやく歌詞の意味が分かりました」とさだまさしに伝えたというエピソードが残っている。この曲で山口はレコード大賞歌唱賞を、さだは西条八十賞を受賞した◆逸話によればこの曲は、最初は「小春日」というタイトルだったそうだ。レコード製作時に名プロデューサー酒井正利の提案で「秋桜」に変更になったらしい。歌詞の冒頭に「薄紅の秋桜が秋の日に…」とあり後半のサビの部分で「こんな小春日和の穏やかな日…」とある。原曲の「小春日」ではこれほど秋桜＝コスモスの名がもてはやされることはなかったかもしれない。ちなみに同年１９７２年に、もう一曲コスモスをタイトルにおくヒット曲がある。兄弟デュオ狩人の歌った「コスモス街道」である。図らずも１９７２年、昭和47年はコスモスが秋の野花として市民権を高めた年となったのである。（志厚）